

第3回 意見交換会 要旨

開催日時	10月 29日(月) 19時00～21時00		
市町村名	堀金村	グループ名	2
メンバー	(: 司会、 : 記録者)		

1. 県配布資料

第2回意見交換会要旨 費用対効果の検討 「概略ルート検討」

2. 第1グループMさんよりの提案検討(7:00～8:00)

(提案)

第1グループ、3グループ共、出席者が少なくなり、意見交換会が行き詰まった。そこで、3グループ合同で、高規格道路問題に限定せず、道づくり、村づくり等について論議をし、村政に反映させて行く意見交換会としたいがいかがか？

(2グループとしての回答)

第2グループとしては、まだ充分意見交換がされていないので、第1、第3グループは他のグループの意見交換要旨を参考に、再度意見交換をしてほしい。第2グループも他のグループの要旨を参考に意見交換をする。

最終的に各グループが終了した段階で合同発表会(当初予定通り)行った後全員で議論をする様にしたらどうか。

県に対して、各グループの要旨を全グループの全員へ配布する事を要望した。

3. 県配布資料の要旨説明(小宮山係長)

塩の道ハイウェイ 地域の課題と道路整備効果(資料修正有、地域の持つ課題(3)の「観光入れ込み客数の推移」の内、穂高周辺地区、昭和63年の急激な上昇は誤りでなだらかな右上り平成12年で約2,000.0千人となる様修正してください)

将来の交通の予測 費用対効果の検討(平成6年の時の算出なので現段階で算出すると数字は変わって来る) 概略ルート検討

4. 意見交換要旨(8:00～9:00)

資料説明の中から意見が発展した

道路の位置付けは都市計画造りに基づき、道路を造るのが本来である。アクセス道路の周辺には工業・商業施設は出来ない事になっている。しかし、新潟では出来ているのが現実であり、又、オリンピック道路周辺は賑わい、インターの周辺に工業・商業施設が出来ている。そのため市街地の空洞化が確実に進んでいる。

逆にアクセス道路を商・工業圏道路として生かし、景環条例で規制し、商工業施設を考慮してもよいのではないか。しかし、現在の景環条例は看板の規制のみで、全般を規制する本当の景環条例ではないので問題である。

資料の交通予測は、今の状態では、こんなにのびない。企業のリストラ策がある中、自転車での観光客が来る様な時代とはならない。

第3回 意見交換会 要旨

開催日時	10月 29日(月) 19時00～21時00		
市町村名	堀金村	グループ名	2
メンバー	(: 司会、 : 記録者)		

新たな方法で道路造りを考えなければいけない。建設計画を凍結しなければいけない。

費用のほとんどが土地代である。その支払われた金が経済発展につながるか疑問である。

長野県は産業交流が薄いので、交流によって産業を生み出す事が出来る。しかし、道路が出来てどの様な産業を生み出す事が出来るか疑問である。

農家は農地をもてあましている。4割の減反や委託しても反別にかかわらず経費がかかる。農業は苦しい。道路が出来て、農業にどの様なメリットがあるか疑問。検討したい。

次回 11月12日(月) AM7:00～役場別館小会議室

(議題) 農業と高規格道路の関係について 他グループの要旨の論議

以上